参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年3月13日
更新年月日	令和8年3月30日 （ 2回目 ）
目標年度	令和12年度
市町村名 （市町村コード）	横浜町 02406
地域名 （地域内農業集落名）	北地区 （桧木、大豆田、鶏沢、1，2号有畑、3，4号有畑、浜田）

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

（1） 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	555 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	502 ha
② 田の面積	145 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	410 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	40 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	28 ha
（参考）区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	78 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	52 ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:（参考）の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（2） 地域農業の現状及び課題

当地区は、農業者の平均年齢60歳である。現状、各農家が農業を経営できる範囲での規模となっているが、今後担い手不足が深刻な状況にあり遊休農地が増加していくことが予想される。また、農地の集積・集約に関しても、一区画が細かく基盤整備の必要性やその他、機械の更新・修繕費用や肥料・飼料等の価格高騰や販売額の低迷などが課題として挙げられた。

（3） 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

機械の共同利用や農作業の効率化のため集落営農や法人化を進め、農作業の効率化を図ることが必要であり、集約化することによりスマート農業の導入での効率化も見込むことができる。また、元々耕作に向かない農地を農家同士で情報共有することが収益の向上にもつながる。併せて今後遊休農地になり得る農地についても町の主な作物である飼料作物等の作付けに取り組んでいく。担い手不足解消、作業効率化のため、法人化や集落営農組織の体制作りを推進していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

新規の担い手、農業法人への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	36 %	将来の目標とする集積率	46 %

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員と調整しながら、農地中間管理機構を通じて進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者、経営拡大意向の農家を中心に農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、受け手・出し手の意向を勘案し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用し、汎用性のある機械の導入を行い、担い手の継続的な農業経営の体制を整備する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
町やJA、県と連携し、地域内外から多様な経営体を募り、農業用機械の共同利用や農業経営に関する相談等、また地区内でのオペレーターの育成に取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農作業の効率化を図るため刈取作業はJAへ委託、作物の乾燥調整作業等は地域の精米所等に委託していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

□	①鳥獣被害防止対策	□	②有機・減農薬・減肥料	□	③スマート農業	□	④輸出	□	⑤果樹等
□	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	□	⑧農業用施設	□	⑨耕畜連携	☑	⑩その他

【選択した上記の取組内容】
③作業の効率化を図るためスマート農業を積極的に導入していく。
⑦中山間地域等直接支払事業等を活用し農地の保全に努めていく。
⑩今後、水稲作付しない水田に関しては、飼料作物や畑作物への畑地化を進めていき、農地利用を進めていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者(氏名・名称)	現状			10年後(目標年度:令和　年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名(氏名・名称)	作業内容	対象品目

6　目標地図（別添のとおり）

7　基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

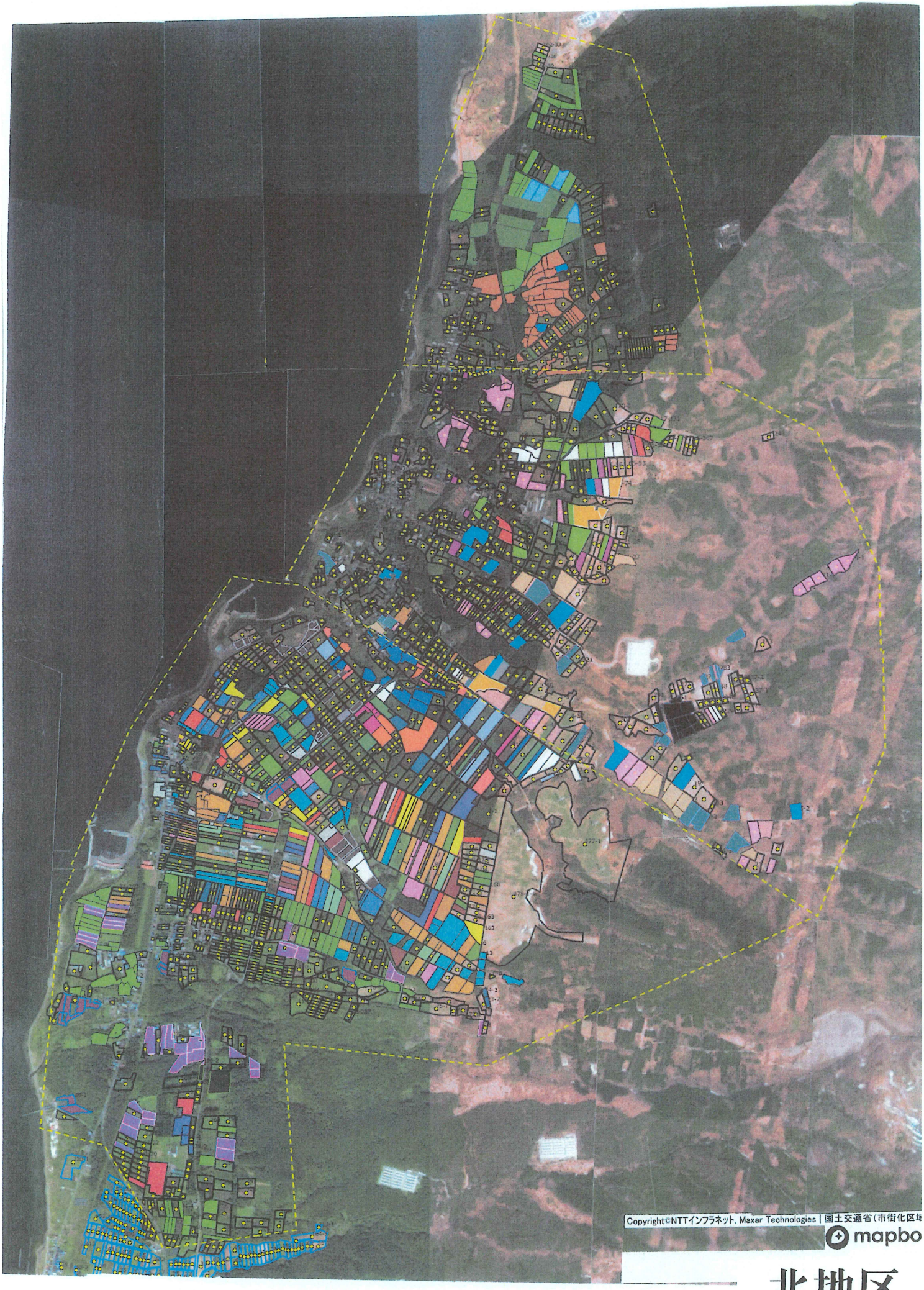
農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状				10年後（目標年度：令和 12 年度）				
			経営作目等	経営面積		作業受託面積	経営作目等	経営面積		作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	坂下　一志	飼料作物	12.2	ha	ha	飼料作物	12.2	ha	ha	44	
2	認農	濵谷　和恵	飼料作物	12.9	ha	ha	飼料作物	12.9	ha	ha	45	
3	認農	佐久間　公二	水稲、野菜、なたね	4.2	ha	ha	水稲、野菜、なたね	4.2	ha	ha	46	
4	認農	太田　千鶴	飼料作物	3.0	ha	ha	飼料作物	3.0	ha	ha	47	
5	認農	太田　芳美	水稲、野菜、なたね、麦	9.6	ha	ha	水稲、野菜、なたね、麦	9.6	ha	ha	48	
6	認農	菊池　國廣	水稲、なたね、麦	5.7	ha	ha	水稲、なたね、麦	5.7	ha	ha	49	
7	認農	二木　義男	水稲、野菜、麦	27.9	ha	ha	水稲、野菜、麦	27.9	ha	ha	50	
8	認農	太田　岩男	水稲、野菜	5.4	ha	ha	水稲、野菜	5.4	ha	ha	51	
9	認農	(有)飯田養豚場	そば、野菜、麦	12.5	ha	ha	そば、野菜、麦	12.5	ha	ha	52	
10	認農	中山　辰司	野菜、なたね	4.5	ha	ha	野菜、なたね	5.5	ha	ha	53	
11	認農	森川　功司	野菜、なたね、麦	14.2	ha	ha	野菜、なたね、麦	16.7	ha	ha	54	
12	認農	森川　石恒	飼料作物	45.4	ha	ha	飼料作物	45.4	ha	ha	55	
13	認農	澤谷　政夫	水稲、野菜、なたね	19.6	ha	ha	水稲、野菜、なたね	19.6	ha	ha	56	
14	認農	沢谷　孝明	水稲、野菜	3.4	ha	ha	水稲、野菜	3.4	ha	ha	57	
15	認農	秋田　陽一	野菜、なたね	5.9	ha	ha	野菜、なたね	5.9	ha	ha	58	
16	認農	森川　清太郎	野菜、なたね、麦	5.0	ha	ha	野菜、なたね、麦	5.0	ha	ha	59	
17	認農	森川　敏通	水稲、野菜、なたね	10.2	ha	ha	水稲、野菜、なたね	10.2	ha	ha	60	
18	認農	鳥山　泰希	飼料作物	16.0	ha	ha	飼料作物	16.0	ha	ha	61	
19	利用者	菊池　國雄	野菜、なたね、麦	7.2	ha	ha	野菜、なたね、麦	7.2	ha	ha	62	
20	認就	大関　拓也	飼料作物	2.5	ha	ha	飼料作物	2.5	ha	ha	63	
21	認農	農事組合法人　よこはま	水稲、果樹	3.3	ha	ha	水稲、果樹	3.3	ha	ha	64	
22	認農	二木　春美、二木　浩克	水稲、野菜、なたね	2.2	ha	ha	水稲、野菜、なたね	2.2	ha	ha	65	
23	認農	菊池　清助	飼料作物	7.8	ha	ha	飼料作物	10.0	ha	ha	66	
24	認農	アグリト・ジャパン　合同会社	水稲	8.9	ha	ha	水稲	8.9	ha	ha	67	
25	認農	二木　菊太郎	飼料作物	10.8	ha	ha	飼料作物	10.8	ha	ha	68	
26	認農	菊池　博彦	飼料作物	11.4	ha	ha	飼料作物	13.0	ha	ha	69	
27	認農	白濵　幸雄	野菜、なたね、麦	6.7	ha	ha	野菜、なたね、麦	6.7	ha	ha	70	
28	認農	佐藤　豊吉、佐藤　政幸	水稲、野菜、麦	0.5	ha	ha	水稲、野菜、麦	0.5	ha	ha	41	
29	認農	菊池　勇介、菊池　奈緒美	飼料作物、なたね、麦	136.2	ha	ha	飼料作物、なたね、麦	143.8	ha	ha	42	
30	認農	古川　亮	飼料作物	15.0	ha	ha	飼料作物	15.0	ha	ha	43	


Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省（市街化区域
mapbo

北地区

北地図①	農業者45
	農業者59
	農業者54
	農業者61
	農業者64
北地図②	農業者68
	農業者59
	農業者58
	農業者60
	農業者56
	農業者57
	農業者55
	農業者54
	農業者61
	農業者63
	農業者64
	農業者67
	農業用施設用地
北地区③	農業者51
	農業者37
	農業者40
	農業者45
	農業者44
	農業者46
	農業者49
	農業者62
	農業者66
	農業者52
	農業者48
	農業者50
	農業者65
	農業者69
	農業者68
	農業者58
	農業者60
	農業者56
	農業者57
	農業者55
	農業者54
	農業者61
	農業者42
	農業者43
	農業者47
	農業者53
	農業者59
	農業者29
	農業者41
	農業者64